

すぎの子 学校だより

翔け榎尾学園 南横山小学校
令和4年度 2月号



炭焼き

先週の26日から3日間かけて今年度の「炭焼き」がありました。南横恒例の行事で、毎年この時期に行われています。今年も3名の炭焼き講師の皆さんにお世話になりながら、6年生を中心に炭焼き体験をしました。

朝から、窯を温め、その間に窯を修復する粘土を作ったり、炭用の木を束ねる作業をしたりしました。窯が温まった後、いよいよ束ねた原木を中に入れます。これがなかなか難しく、立てたまま窯の奥から順番に詰めていきます。最後に着火をして、一日目の作業は終了です。夜は見学会を行い、多くの児童、保護者のみなさんに見ていただきました。見える箇所は狭いですが、中で赤々と燃える炎の様子を感じてもらえたのではないかと思います。

2日目は、いよいよ窯から炭を取り出します。「えぐり」という長い棒のようなものを使って、丁寧に掻き出します。できるだけ折らないように、長いまま取り出せるように、慎重に作業します。6年生をはじめ、保護者や先生など多くの人たちにこの窯出しの体験をしてもらいました。出した炭は砂をかけて冷ましたあと、大きさごとに仕分けをしました。ここから、6年生は炭販売のため、商品化に向けて学習を継続していきます。

今年は、次年度のへき地大会のお土産のために多く炭を作る必要がありましたので、このあともう一回炭焼きを行い、終わったのは翌日の土曜日でした。お手伝いいただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。

伝統行事「炭焼き」

南横山小学校伝統の炭焼きを26日(木)から28日(土)にかけて行いました。今年度はへきP大会のため、炭焼きを二窯行いました。



6年生は、事前に昔の窯跡の見学をし、講師の山本博和さんが仕事の前に願掛けをしていたご神木に今回の安全と成功を祈願しました。前日には、一人ずつ窯の中に入り、中の様子を見学しました。

初日は、朝から窯に入れやすいように、原木を3~4本ずつつるで束ねる作業からスタートです。束ねたら、いよいよ窯入れ。小さな入り口から、束ねた原木を隙間なく立てて入れていきます。まっすぐに立てて入れなければ、長くまっすぐな良い炭はできないそうです。傾かないよう、道具で上手に入れていきます。難しい作業ですが、一つひとつ教わりながら体験しました。



そしていよいよ着火。やがて真っ白な煙が上がり始めました。ここから、一晩中燃やし続けます。皆さんに、夜の観察会で真っ赤に燃えているところを見ていただけたのでは、と思います。今年はカップ麺も久しぶりに復活し、楽しいひと時を過ごせたのではないのでしょうか。



2日目は、いよいよ窯出し。立ち上る煙が1日目と違い、透き通っていました。一人ひとり、真っ赤に焼きあがった炭を掻き出していきます。掻き出した炭は、すぐに横に寄せ、灰をかけて冷ましていきます。6年生だけではなく、他の学年の子どもたちにも作業の様子を見に来てもらい、炭焼き活動を少し体感してもらいました。「自分たちも6年生になったらやるんだ。」という思いを強くしたのではないのでしょうか。冷ました炭は、6年生が選定して大きさ別に分けました。たくさん良い炭ができました。例年の1.5倍以上だそうです。



今後、6年生は炭販売に向け、会社を設立し、キャリア学習として活動していきます。



一窯目の炭を取り出したら、窯が熱いうちに、二窯めの原木を入れていきました。またもう一晩燃やします。土曜日の朝、PTA役員の方を中心に、窯出しから選定までしてくださいました。

3日間にわたり、ご協力いただいた炭焼き講師の皆様、PTA役員をはじめ、保護者の皆様、本当にありがとうございました。



☆炭販売は2月17日(金)の9時から11時の予定です。詳細の連絡は、後日6年生よりいたします。よろしければご協力ください。

書き初めコンクール

各学年で選ばれた人をご紹介します。1月28日・29日にシティプラザにて展示されました。授業参観時に、児童全員の作品を展示します。

- 1年
- 2年
- 3年
- 4年
- 5年
- 6年

保護者・地域の方にはお知らせしております。

地震避難訓練 1月17日(火)

今回は大きな地震が発生した時の、子どもたちの安全確保のための訓練を行いました。震度5弱以上の地震が起こったときは身の安全を確保したのち、おうちの方に迎えに来ていただくことになっています。土砂崩れの危険があるときは全員3階に集まり、おうちの方を待ちます。みんな真剣に、静かに集中して行うことができ、感心しました。



なわとび朝礼

2月9日・10日のなわとび検定大会に向け、みんな練習に励んでいます。朝の時間は、すぎの子班で教え合っています。初めての1年生も、高学年に教えてもらって、ずいぶん上手になってきました。

